

◆特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理する会計で、国民健康保険特別会計など15会計があります。

(単位：万円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度繰越財源	差引残額
国民健康保険	734,536	712,543	0	21,993
老人保健	1,426	1,426	0	0
後期高齢者医療	71,029	69,714	0	1,315
介護保険	716,784	709,478	0	7,306
簡易水道	181,066	173,664	2,612	4,790
下水道	390,427	378,201	4,010	8,216
土地取得	519	519	0	0
ケーブルテレビ	29,374	28,598	0	776
歌代の里	46,309	45,801	0	508
すこやか両津	60,635	58,166	0	2,469
五十里財産区	42	42	0	0
二宮財産区	366	366	0	0
新畑野財産区	387	355	0	32
真野財産区	108	98	0	10
空港用地取得補償	159,204	159,204	0	0

◆平成22年度に取り組んだ主な事業と成果

区分	項目	決算額
総務費	◆空港対策事業 佐渡-新潟航空路線の運航再開のため、県とともに事業者への交渉を重ねた結果、平成23年7月の就航について覚書締結に至りました。	3,005万円
民生費	◆老人福祉一般経費 「医療・福祉・介護」が連携した地域づくりを目的として、新潟大学などの官学連携により佐渡市福祉版コンパクトシティモデル事業を実施しました。	277万円
	◆子ども手当支給事業 家庭における生活の安定と次代を担う児童の健全育成を目的とした子ども手当を支給しました。	78,269万円
衛生費	◆リサイクル推進事業 家庭から出される生ごみの減量化と堆肥としての再利用を検証するために、新穂地区で「コンポストモニターモデル事業」などを実施しました。	3,663万円
農林水産業費	◆地産地消推進事業 地場産農林水産物の利用向上を目指して地産地消まつりを開催しました。	785万円
	◆生物多様性戦略推進事業 佐渡版所得補償制度の実施により、所得の一部が確保されたことから、担い手確保への期待、環境負荷の少ない栽培の推進などが図られました。	13,185万円
商工費	◆佐渡産品再生戦略事業 市内および首都圏に佐渡産品の販売所を設置し、地産地消の推進と佐渡産品の販売促進などを図りました。	2,612万円
	◆着地型ツーリズム整備事業 民泊受入れの可否などを調査する集落コミュニティ受入調査や、女子大生の視点を幅広く取り入れた旅行プランの提案などを行いました。	724万円
土木費	◆LED防犯灯設置事業 安全で安心なまちづくりと、省エネ、省メンテナンスで環境に優しいLED防犯灯への切替工事を実施しました。	27,178万円
消防費	◆消防防災施設・設備整備事業 災害の多種多様化・複雑化に対応するため、また消防団の機動力強化を図るために、資機材や車両などを更新整備しました。	4,697万円
教育費	◆総合学習支援事業 小中学校において、郷土を愛し、夢と誇りをもつ教育を推進するため、佐渡の自然・歴史・文化を学ぶ学習を実施しました。	1,260万円

◆市債の現在高

市債は、市が大きな事業を実施した時に借り入れたお金で、市の借金にあたります。(単位：万円)

会計名	平成22年度末現在高	
一般会計	5,314,563	
特別会計	簡易水道	624,616
	下水道	2,508,663
	土地取得	0
	ケーブルテレビ	36,385
	すこやか両津	81,585
公営企業会計	905,319	
	病院事業	42,507

◆市有財産の内容

庁舎、保育園、小・中学校などの建物や土地、市の貯金にあたる基金などの状況は次のとおりです。

区分	平成22年度末現在高
▽ 土地	73,434,792㎡
▽ 建物	537,332㎡
▽ 山林	61,757,078㎡
▽ 有価証券	6,708万円
▽ 各基金計	1,832,539万円

※基金は、ある目的のために積立て、準備しておく資金のことで、「教育文化振興基金」、「トキ環境整備基金」などの基金があります。

◆公営企業会計

公営企業会計は、民間企業と同じような経営をしている事業で、水道事業会計、病院事業会計があります。

○水道事業会計

(単位：万円)

区分	決算額	
収益的	収入	111,180
	支出	105,732
資本的	収入	104,999
	支出	147,810

○病院事業会計

(単位：万円)

区分	決算額	
収益的	収入	239,535
	支出	234,131
資本的	収入	28,607
	支出	29,552

